

# 【SigmaSystemCenter 3.5】特定条件で発生するVMware ESXiに対する性能データの収集エラーについて

SystemMonitor性能監視から行われるVMware ESX/VMware ESXi(以降、ESXiと記述します)に対する性能データ収集において、性能データ収集の設定が後述の条件を満たす場合、エラーが発生する問題について説明します。  
エラーが「1. 現象について」と「2. 発生条件」の記載と一致する場合は、「3. 現象の回避方法」に記載の方法で回避を行ってください。問題の修正予定については、「4. 修正時期」を参照してください。

## 1. 現象について

SystemMonitor性能監視のESXiに対する性能データ収集において、後述の「2. 発生条件」に該当する場合、以下のエラーが発生します。

性能データ収集のエラーが発生した場合、SystemMonitor管理コンソールのログペインやイベントログのSystemMonitor監視ログに、以下の警告メッセージが出力されます。  
詳細メッセージが「ESXサーバから性能データが取得できません。」の場合、本問題に該当します。

警告	2016/04/19 06:30:01.900 SystemMonitorPerformanceService 70	データ収集
詳細:	性能データ (マシン:EsxServer、タイトル:CPU Usage (MHz)、リソース:CPU、測定対象:Total、性能指 ESXサーバから性能データが取得できません。	

## 2. 発生条件

SystemMonitor性能監視の性能データ収集の設定(SigmaSystemCenterの監視プロファイル設定)が以下の条件を満たす場合、「1. 現象について」に記載の現象が発生します。  
また、過去バージョンで下記条件の設定をしていて、SigmaSystemCenter 3.5にアップグレードした場合も同様に現象が発生しますので、注意してください。

- 対象のESXiの性能データ収集用に指定している性能情報と同一種類の性能情報が配下の仮想マシンに対しても指定されていない場合、ESXiに対する性能データ収集において該当する性能情報の収集のエラーが発生します。
- ただし、配下の仮想マシンの性能データ収集用に指定している性能情報が、ESXi経由で収集が行われる性能情報が1つもない場合は現象は発生しません。
  - ESXi経由で収集が行われる性能情報は、ビルトイン性能情報(仮想マシン用性能情報)の場合、"Host ~ "や"Guest ~ "のように名前の頭に"Host"か"Guest"が付きます。

エラーが発生しない同一種類のESXiの性能情報と仮想マシンの性能情報の組み合わせは、ビルトイン性能情報(仮想マシン用性能情報)の場合以下の表の通りです。カスタム性能情報の場合は、サポート窓口まで問い合わせてください。

例えば、ESXiの性能情報指定で"CPU Usage (%)"を指定する場合、配下の仮想マシンに対して"Guest CPU Usage (%)"を指定すると現象は発生しません。逆に、配下の仮想マシンに対して"Guest CPU Usage (%)"が指定されていない場合は現象が発生します。  
また、ESXiの性能情報指定で"CPU Usage (%)"を指定して、配下の仮想マシンに対して同一リソースで異なる性能情報"Guest CPU Usage (MHz)"を指定した場合も事象は発生します。

No.	リソース	ESXiの性能情報	仮想マシンの性能情報
1	CPU	CPU Usage (%)	Guest CPU Usage (%)
2		CPU Usage (MHz)	Guest CPU Usage (MHz)
3	Disk	Disk Transfer Rate (Bytes/sec)	Guest Disk Transfer Rate (Bytes/sec)

4		Disk IO Count (IO/sec)	Guest Disk IO Count (IO/sec)
5		Disk Read Transfer Rate (Bytes/sec)	Guest Disk Read Transfer Rate (Bytes/sec)
6		Disk Read Count (IO/sec)	Guest Disk Read Count (IO/sec)
7		Disk Write Transfer Rate (Bytes/sec)	Guest Disk Write Transfer Rate (Bytes/sec)
8		Disk Write Count (IO/sec)	Guest Disk Write Count (IO/sec)
9	Network	Network Packet Transfer Rate (Bytes/sec)	Guest Network Transfer Rate (Bytes/sec)
10		Network Packet Reception Rate (Bytes/sec)	
11		Network Packet Transmission Rate (Bytes/sec)	

SystemMonitor性能監視の性能情報の詳細について、以下のマニュアルを参照してください。

「SystemMonitor 性能監視 5.7 ユーザーズガイド」  
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/download.html>

- 1.3.2. ビルトイン性能情報
- 1.3.3. カスタム性能情報

SystemMonitor性能監視のESXi経由の性能データ収集の動作に関する詳細について、以下のマニュアルを参照してください。

「SigmaSystemCenter 3.5 リファレンスガイド 概要編」  
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/download.html>

- 2.7.7 SystemMonitor 性能監視の性能データ収集の動作

### 3. 現象の回避方法

性能データ収集の設定を、「2. 発生条件」に記載の条件を満たさないようにすることで、現象が発生しないようにすることが可能です。

「2. 発生条件」に記載の表を参考に、ESXi配下の仮想マシンに、ESXiの性能情報に対応する仮想マシンの性能情報を収集するように設定してください。  
例えば、ESXiに対するCPU Usage (MHz)の収集で警告が発生した場合、仮想マシンに対してGuest CPU Usage (MHz)の性能データ収集を追加します。

仮想マシンに対して収集する性能情報の追加は、SigmaSystemCenter Webコンソール上で仮想マシンの監視プロファイルの設定を変更して行います。  
以下の手順で監視プロファイル変更を行ってください。

1. SigmaSystemCenter Webコンソールを起動して、[運用]ビューを開きます。
2. ツリービュー上で、警告が発生したESXi配下の仮想マシンが稼働している運用グループを選択します。
3. グループプロパティを開いて、[性能監視]タブに遷移します。
4. [性能監視]タブの「指定監視プロファイルを参照する」リンクをクリックして、監視プロファイル編集画面を開きます。
5. [性能情報一覧]の[追加]操作メニューをクリックして、[性能情報設定]を開きます。
6. 「2. 発生条件」に記載の表を参考に、[性能情報設定]からESXiに対して収集している性能情報に対応する仮想マシンの性能情報を追加します。
  - 複数の性能情報で警告がでている場合、上記の手順を繰り返してすべての性能情報の追加を行ってください。
  - 収集間隔の設定は、ESXiの収集間隔と同じように設定してください。
7. [監視プロファイル編集]で[OK]をクリックして、設定を保存します。
8. 上記設定は、定期的に行われる[SystemProvisioning構成反映]のタイミングでSystemMonitor性能監視に反映されます。手動で行う場合は、SystemMonitor管理コンソールを開き、管理サーバのノードを選択し

た上で右クリック->[SystemProvisioning構成反映]を実行してください。

**留意点:**

警告が出力されたESXi配下に仮想マシンが複数動作していて、それぞれが別の運用グループで稼働している場合、該当するすべての運用グループについて、上述の監視プロファイル変更を行ってください。

モデルプロパティ、ホスト設定の[性能監視]タブでモデルやホスト別に監視プロファイルを設定している場合、該当するすべてのモデルプロパティ、ホスト設定で上述の監視プロファイル変更を行ってください。

性能監視設定、監視プロファイル設定の詳細について、以下のマニュアルを参照してください。

「WebSAM SigmaSystemCenter 3.5 コンフィグレーションガイド」  
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/download.html>

- 14.12.3. 監視プロファイルを作成するには
- 5.5.15. [性能監視] タブを設定するには
- 5.7.7. [性能監視] タブを設定するには
- 5.8.10. [性能監視] タブを設定するには
- 5.9.10. [性能監視] タブを設定するには

## 4. 修正時期

以下の修正モジュールを適用することで、本問題の現象が発生しなくなります。修正モジュールをダウンロード後、ダウンロードファイルに含まれている適用方法を参照の上、適用を実施してください。

- SSC0305-0001
  - <https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010104723>